



みんなで育てる高松の子、みんなが育つ高松小学校

令和8年3月24日

練馬区立高松小学校 校報 No. 645

校長 小貫義智

TEL3999-3376

<https://www.nerima-tky.ed.jp/takamatsu-e/>

# たかまつ

学校の教育目標

●自ら学ぶ子

●思いやりのある子

●たくましい子

## 新年度に向けて充実した春休みを

生活指導主任

本年度は、体育祭、高小フェスティバルに加え、コロナ禍で体育館開催ができなかった展覧会を6年ぶりに体育館で開催することができました。6年生が企画した黄色い銀杏の葉が敷き詰められた体育館入口を通り抜けると、各学年の色とりどりの作品が目の前に広がる光景が、今でも鮮やかに思い出されます。1年間を通して、行事のみならず日々の学校生活に対しても、子供たちを心身ともに支えていただきました保護者の皆様にご心より感謝いたします。ありがとうございました。

生活指導面では、子供たちや保護者の悩みの相談ができるこれまでの相談室とともに、日々の学校生活の中で起こる不安や悩みに即時に対応できる支援教室「ほっとルーム」を新設しました。今後も常に新しい視点をもって、子供たちが安心・安全に生活できるように、学校全体で取り組んでいきます。

本日、各担任から一人一人に通知表を渡しました。親子でご覧いただき、学習や生活の面での成長を認め、たくさん褒めてください。また、もっと伸ばしたいところ、もう少し頑張った方がよいところも話し合い、新年度の目標としていただければと思います。

春休み中の安全な生活の仕方や新学期への準備につきまして、下記の事項を参考にいただき、各ご家庭のご指導をよろしく願いたします。

### 1 春休みのめあて（※春休み中は、校庭開放はありません。）

- (1) 進級・進学にあたり、自分の目標を決めよう。
- (2) 身の回りを整理して、新学期の準備をしよう。
- (3) 健康・安全に気を付けて元気に過ごそう。



### 2 春休みの過ごし方

#### (1) 新学期の目標を立てる

- ・4月から始まる新しい学年に向けて、自分が頑張る目標を立てる。
- ・前学年までの自分の学習課題を振り返って、自主的に学習する。

#### (2) 身の回りの整理整頓をする

- ・通知表や作品等を整理する。 ・学用品の補充や新学年・氏名の記名をする。

#### (3) 健康・安全に気を付ける

- ・交通安全に気を付ける。特に、自転車の乗り方、道路の歩行、信号がない交差点の横断等。  
※万が一、事故等が発生したときには、警察への連絡後、学校にもご連絡ください。
- ・早寝、早起き、しっかり食事と自分に合った体づくりに取り組む。
- ・感染症予防対策等を踏まえた健康管理に留意する。 ・不審者に注意（防犯ブザーの携行）する。
- ・災害発生時は、落ち着いた行動や適切な対応をする。
- ・スマートフォンやSNS、タブレット等は、適切な使い方を守る。（ぜひ、親子で確認してください。）  
※タブレットは使用して構いませんが、学びポケットは3月25日までしか使えません。春休みから、メンテナンスのため、約1か月程度使用できませんのでご承知おきください。万が一、春休み中に紛失や破損、故障などがありましたら、新年度に担任までご連絡ください。

#### (4) 約束を守って、楽しく遊ぶ

- ・出かけるときは、家の人に行き先・帰る時刻を伝える。
- ・地域の公園で遊ぶときは、公園の約束を守って遊ぶ。
- ・子供だけで、遊園地、ゲームセンター、映画館、カラオケボックス等に行かない。
- ・友達同士で、お金や物をおごったりおごられたりしない。
- ・道路や、人の家・建物・敷地内・駐車場で遊ばない。

### 3 新学期の登校について

○始業式児童登校 4月7日（火）8時15分

※各学年とも、新クラスの発表があるので、8時15分には、校庭に到着していきましょう。

○始業式 校長先生の話、学級担任の発表、学級指導（新6年生のみ学級指導後、入学式前日準備があります。）

○児童下校時刻…新2～5年生 10時30分頃、新6年生 12時00分頃

※入学式は、4月8日（水）13時45分～ に行います。入学式には、新2年生、新6年生が参加します。

☆新学期の予定が変更になる場合には、sigfy及び学校ホームページでお知らせいたします。

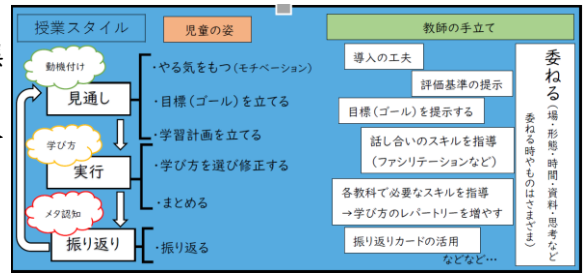
# 研究主題 「児童が自ら学びを進める、授業スタイルの確立」の実践を終えて

研究主任

「自ら学びを進める力(自己調整力)」の研究を行って4年目になりました。目指す児童の姿に向けて、教師一人ひとりが自分なりの授業スタイルを試行錯誤しながら取り組んできました。

6月と2月に全校児童(1年生は2月のみ)に行った実態調査から、「自分に合った学び方を選んでいるか」の項目で96%(5%増)の児童が肯定的な回答をしました。自分の学び方を自分で選んでいる児童が多い証拠です。一方で、「選んだ方法がうまくいかないときは、他の方法を試しているか」の項目の肯定的な回答は86%(2%減)と、全体として低い結果でした。もちろん学年差はありますが、次に生かすことに苦手意識をもっている児童が比較的多いことが分かりました。課題は来年度の研究に生かしていきたいと思えます。

教師は「学びの伴走者」である。教師は知識を一方向的に教えるばかりではなく、児童の主体的な学びを支援し、個人のペースや特性に合わせて学習をサポートする立場でありたいものです。来年度も引き続き、質の高い教育活動になるよう研究を深めていきます。



教師は「学びの伴走者」である。教師は知識を一方向的に教えるばかりではなく、児童の主体的な学びを支援し、個人のペースや特性に合わせて学習をサポートする立場でありたいものです。来年度も引き続き、質の高い教育活動になるよう研究を深めていきます。

## 【国語部会】:松嶋 瀧野 田口 中野 長坂

### 成果①児童の実態に応じた委ね ②児童が自ら立てる学習計画

- ① 低学年でも選択肢を与える、選択肢を狭めることにより、児童が選んで学習を進めることができた。資料を精選することが必要だと気付いた。
- ② 振り返りとセットになっている学習計画やゴールが明確な「学びの山」の活用により、学習の進め方を理解する児童が増えた。

**課題** 学びを自覚し、深まりを実感できた児童が少なかった。学年ごとに必要な手立てや深まったことを確かめるための方法を考える必要があった。

## 【社会部会】:鈴木(将) 江藤 月沢 山崎

### 成果 児童が自ら学習を進めるためのスキルが定着した

- 「調べる」学習において:情報収集の仕方(一次情報、二次情報など)、「虫の目」「鳥の目」などグラフの読み方など各学年で実践、定着。
- 「振り返り」:振り返りカードを活用し、自らを振り返る児童が増えた。

### 課題 系統立てられなかった

・教員個々の新たな実践は多かったが、部会として3~6年の系統立てた授業スタイルを確立できなかった。系統立てられると、さらに効果が出ると考える。

## 【算数部会】:原 鈴木(陽) 古橋 磯崎

### 成果

- ・子どもたちが自分で考え、友達と考えを伝え合いながら学ぶ授業づくりについて、教員が試行錯誤しながら取り組んだ。
- ・自分の考えをすすんで発表する児童の姿が増えた。

### 課題

・子ども同士の話合いが活性化するために、教員のファシリテーター力をさらに向上させる必要がある。

## 【理科部会】:池田 笠原 斎藤 酒井

### 成果

- ・自分たちで方法を考える過程を取り入れたことで、実験への当事者意識が高まった。
- ・「他の班はどうなったか?」という興味が湧き、自然と班を超えた活発な意見交換が行われた。

### 課題

・児童に方法を考えさせた結果、実現不可能な計画になることが多くあった。児童の実態に合わせて選択肢を用意する、助言のタイミングを工夫するなど、適切な足場かけが必要である。

## 【体育部会】:浅見 一ノ瀬 埴田 小泉

### 成果

- ・タブレットを活用して、自分やチームの動きを振り返ることができた。それにより、自己の解決すべき課題を把握できた。

### 課題

- ・課題に合った解決方法を選択できていない場面があった。
- ・話し合いや振り返りの時間と運動量とのバランスが難しかった。

## 【生活・総合部会】:川島 田村 坂本

### 成果

- ・導入を工夫してゴールが明確化できた。
- ・タブレットを活用し、話し合いの視覚化ができた。

### 課題

- ・デジタルに頼りすぎて、知識の習得が不十分だった。
- ・研究仮説が抽象的だった。

## 卒業によせて 〈6年生〉



### 【1組】

- ・6年間 共に過ごした ランドセル
- ・体育着 共に運動した 仲間たち
- ・6年間 友と一緒に 遊んだ日
- ・6年が 卒業したら 1年だ
- ・友達と 描いたイラスト なつかしい
- ・友達と 過ごした幸せ 忘れない
- ・僕達も 先輩たちを 追い駆ける
- ・4月から 心新たに 1年生
- ・あのタイヤ あのうさぎ小屋は もう見ない
- ・6年間 作りあげてく きずなたち
- ・証書もち 掲げた瞬間 卒業だ
- ・桜咲き 桜の花が また散るよ
- ・桜ふぶき 「またね」と告げた 名残惜しい
- ・何気ない ふざけた時も 宝物
- ・この春に 未来に翔び立つ 卒業生
- ・義務教育 6年たって あと3年

～「卒業」への思いを川柳にこめて～

- ・勉強が とても心配 中学生
- ・卒業は 中学生の 入学式
- ・別れとは 出会いの始まり さぁ行こう
- ・さようなら 6年通った 高松小
- ・青い空 桃色の花が お出迎え
- ・またいつか 高ワン松ピョン さようなら
- ・6年間 みんなが歩いた この通路
- ・卒業だ 花粉と共に さってゆく
- ・思い出す 友達と歩いた 通学路
- ・高松小 思い出たくさん ありがとう
- ・去って行く 桜とともに ぼくたちは
- ・過ぎてゆく カウントダウン 卒業か
- ・ランドセル 6年間の 友達だ
- ・友達と 一緒に帰るの 最後かな
- ・入学式 わっくわっくの 1年生



### 【2組】

- ・ランドセル もうすぐ別れ 旅立ちだ
- ・門出の日 大きな感情 あふれ出す
- ・ありがとう いっしょにすごした 友達に
- ・門出の日 新たなつぼみ 飛んでいく
- ・卒業式 成長した姿 見てもらう
- ・さみしくて 行きたくないな 卒業式
- ・卒業後 友と一緒に 歩んでく
- ・登下校 家遠すぎて 筋肉痛
- ・卒業式 みんなとお別れ 悲しいな
- ・様々な 記憶の数々 思い出す
- ・卒業式 みんな泣いて ぼくも泣く
- ・ありがとう とともに歩んだ 仲間たち
- ・6年間 遊んだ校舎に さようなら
- ・ありがとう 友達先生 6年間
- ・卒業式 今までの思い出 よみがえる

- ・旅立つ日 新たな道を 歩んでく
- ・意外にも すぐに終わった 6年間
- ・卒業後 最後に集まる 桜の木
- ・卒業式 みんなサヨナラ ありがとう
- ・またいつか 青空みよう 友達と
- ・門出の日 ランドセルも 卒業だ
- ・ランドセル 寄せ書きまみれ 真っ黒だ
- ・友達と 最後に歩く 帰り道
- ・ありがとう 成長したら また会おう
- ・6年間 いろんなことが よみがえる
- ・桜の木 六回見届け 卒業生
- ・ありがとう みんなとの日々 宝物
- ・親友と 六年歩いた 通学路
- ・6年間 思い出たくさん ありがとう



### 【3組】

- ・桜との 思い出作り 旅立ちに
- ・おさらばだ 6年使った ランドセル
- ・高松小 六年間 ありがとう
- ・あのときの かがやき姿 もういちど
- ・さようなら 思い出いっぱい 高松小
- ・友達よ このたのしさを ありがとう
- ・ランドセル 思い出つまった 6年分
- ・十年後 ふと思い出す あの友が
- ・6年の 思いのをせた 門出の日
- ・友達と 25日で お別れだ
- ・君とみる さくら咲くとき 卒業だ
- ・ありがとう 友達家族 高松小
- ・6年間 お世話になった ありがとう
- ・思い出す みんなと過ごした あの日々を
- ・門出の日 言葉で伝える ありがとう
- ・3学期 気がつけばもう 卒業だ



### 【4組】

- ・旅立つ日 仲良い友と おわかれだ
- ・6年間 とともにすごした 仲間たち
- ・おわかれだ いつもくぐった 西門と
- ・みんなとね 一足先に さようなら
- ・学校で たくさん過ごした 6年間
- ・さようなら 高松小の ジャージャーめん
- ・なつかしい いろんなあだ名 さようなら
- ・旅立つ日 もうお別れだ 友だちと
- ・桜さく みんなですごした 6年間
- ・入学式 紅白幕で 思い出す
- ・お別れだ 共に過ごした 校帽よ
- ・再テスト 漢字テストの お時間です
- ・友だちと テストで勝負 していたな
- ・別れの日 桜の花びら ひらひらと
- ・のりけしに 卒業間際に はまったよ
- ・きのことなす 克服できず 卒業だ

- ・春の光 とともに卒業 ランドセル
- ・新しい 未来にすすむ 卒業式
- ・思い出が さくらとともに 満開に
- ・ランドセル 思い出せおって 卒業だ
- ・未来へと 仲間とともに あゆんでく
- ・私たち これまで6年 がんばった
- ・卒業式 大きな声で 頑張るぞ
- ・サクラ咲く 君と笑う日 またいつか
- ・卒業で 新たにすすむ 第一歩
- ・桜咲く これから自分も 中学生
- ・この景色 ちゃんと見ないと もう見れない
- ・小学校 思い返せば 一瞬だ
- ・6年間 今年で学校 はなれてく
- ・卒業式 人いっぱい 緊張だ
- ・門出の日 卒業します ありがと

- ・さようなら いじりいじられ 仲間たち
- ・また会おう この地で過ごした 友だちよ
- ・お別れだ 無料で食べた 給食と
- ・高小よ 6年間 ありがとう
- ・7度目の 体育祭は もうないの？
- ・春の告げ 桜咲くのに お別れだ
- ・先生が 2秒でかくのは ドラえもん
- ・こっそりと かくしたテスト なつかしい
- ・ランドセル 私の身長 やっと合う
- ・さあゆこう 涙もにげてく 笑顔でさ
- ・しんとする 部屋にこもって 目から汗
- ・卒業式 未来へ向かって 走り出す
- ・先生の 足が治る時 もういない
- ・桜の木 入学式を 思い出す